

平成 25 年 3 月 11 日

### 実務対応専門委員会による新規テーマの評価に関する報告

実務対応専門委員会では、基準諮問会議からの依頼により、以下の実務対応レベルのテーマの評価について、3回の審議を行った。

- (1) 繰延税金資産の回収可能性（JICPA 監査委員会報告第 66 号関連）
- (2) 実務対応報告第 18 号の見直し
- (3) 早期割増退職金の会計処理
- (4) 連結納税制度と企業結合に関する税効果会計
- (5) 種類株式の会計処理
- (6) 現物分配の会計処理
- (7) 契約に含まれるリース取引

テーマの候補に対する審議を踏まえた、専門委員会における評価の結果は以下の通りである。

#### (1) 繰延税金資産の回収可能性（JICPA 監査委員会報告第 66 号関連） 資料(4-1)、(4-2)

ASBJ においてテーマとして採りあげる場合、影響が非常に大きいと考えられるため、引き続き検討することとし、今回は、論点の理解を深めるため、ASBJ で採り上げることの要否に関する意見を整理し報告する。

#### (2) 実務対応報告第 18 号の見直し 資料(5)

新たに検討を加えるべき日本基準と IFRS の差異が生じており、ASBJ の新規のテーマとすることが適切であると判断する。

#### (3) 早期割増退職金の会計処理 資料(6)

リストラクチャリング引当金との関係も整理する必要がある、引き続き検討を続けることが適切であると判断する。

#### (4) 連結納税制度と企業結合に関する税効果会計 資料(7)

過去に ASBJ において必要に応じて検討を行うとされていた事項であり、基準間の取扱いの差異を整理するために、ASBJ の新規のテーマとすることが適切であると判断する。

- (5) 種類株式の会計処理 資料(8)
- (6) 現物分配の会計処理 資料(9)
- (7) 契約に含まれるリース取引 資料(10)

将来的な検討課題になることがあることは認識しつつ、今回は、新規のテーマとして採りあげないこととする。今後、同様な提案があった場合には、再度検討を行うこととする。

以 上